

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

財務報告書

Financial Report 2012



NAIST®

限りなき未知への探求

目的

学部を置かない国立の大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩と社会の発展に寄与することを目的としています。

理念

▶ 先端科学技術分野に係わる高度な研究の推進

▶ 国際社会で指導的な役割を果たす研究者の養成

▶ 社会・経済を支える高度な専門性を持った人材の養成

▶ 社会の発展や文化の創造に向けた学外との密接な連携・協力の推進

Contents

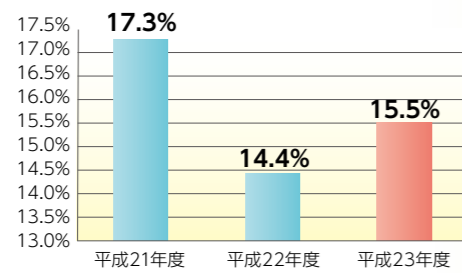
- 「最先端」を追求し続ける奈良先端大
 - 財務データで見る奈良先端大
 - ランキングで見る奈良先端大
- 平成 23 年度 損益計算書（費用）の状況
- 平成 23 年度 損益計算書（収益）の状況
- 平成 23 年度 貸借対照表（資産）の状況
- 平成 23 年度 貸借対照表（負債・純資産）の状況
- 財務諸表等の推移
 - 損益計算書
 - 貸借対照表
 - キャッシュ・フロー計算書
 - 業務実施コスト計算書
- 財務データ



財務データでみる奈良先端大

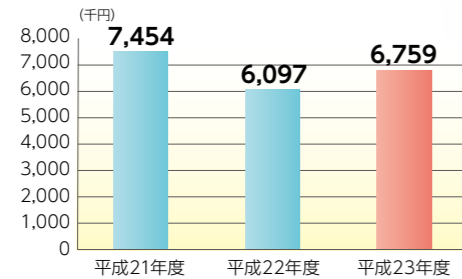
外部資金比率^{*1}

受託研究等の外部資金に研究費をどれくらい依存しているかがわかる指標です。本学の外部資金比率は国立大学法人の全国平均である8.9%（2012年度）と比較しても非常に高い値を示しています。



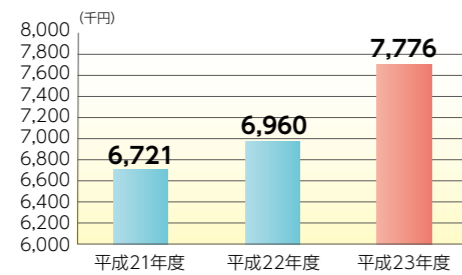
教員一人当たり外部資金収益額^{*2}

教員一人当たりでみた外部資金収益をみると、675万円となっており、本学の教員は他大学と比べ、外部資金獲得力が優れていることがわかります。



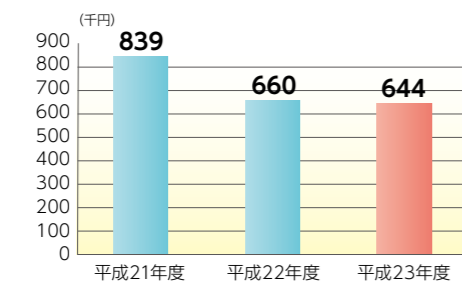
教員一人当たり研究経費^{*3}

教員一人に対して、どれだけの研究経費を投資しているかがわかる指標です。本学では、総予算内でのバランスを考えたうえで、積極的に予算投入をしております。



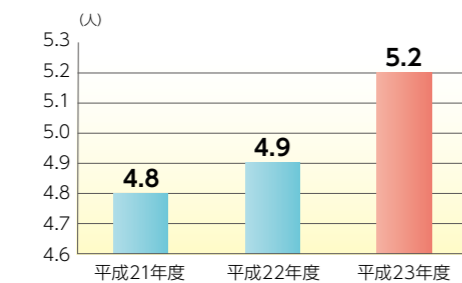
学生一人当たり教育経費^{*4}

学生一人に対して、どれだけ教育経費を投資したかがわかる指標です。本学では、総予算内でのバランスを考えたうえで、充実した教育環境を目指し、予算投入をしております。



教員一人当たり学生数^{*5}

教員一人で何人の学生を担当しているのかを表す指標です。本学では教員一人に対して学生数が5.2人となっており、他大学と比べ、教員の目が学生に行き届き、丁寧な教育研究の指導体制をとっていることがわかります。



データ出所 奈良先端科学技術大学院大学財務諸表等及び事業報告書（以下、財務諸表等）、文部科学省「国立大学法人の平成23事業年度財務諸表の概要及び別紙資料集」（以下、文科省資料）より ※1：外部資金比率＝

「最先端」を追求し続ける奈良先端大

大学院大学として最先端の研究・教育を実現している

奈良先端大の強さは、数字となって表れています。

安定した財務内容と最適な研究・教育環境を基盤として、研究者・学生に対する十分な投資が、他大学には類をみない最先端の成果を創出しています。

卓越した研究成果が新たな最先端分野の研究受託を生み出す好循環を実現

外部資金比率 **15.5%**

教員一人当たり外部資金収益額 **675万円**

教員一人当たり研究経費 **777万円**

学生一人当たり教育経費 **64万円**

教員一人当たり学生数 **5.2人**

研究者・学生に対する十分な投資

教員一人当たり研究関連資産額 **991万円^{*6}**

教員及び学生一人当たり教育研究支援関連資産額 **218万円^{*7}**

学生一人当たり教育関連資産額 **26万円^{*8}**

本学の研究設備は最新・最先端のものを導入し、安定した財務基盤によって維持・更新されています。

研究・教育に最適な環境を整備

自己資本比率 **59.4%**

自己資本比率は財務の安定性を示す指標です。借入金による土地取得のため、若干低い値となっていますが、今後償還に係る会計処理で少しずつ回復していきます。

流動比率 **60.0%**

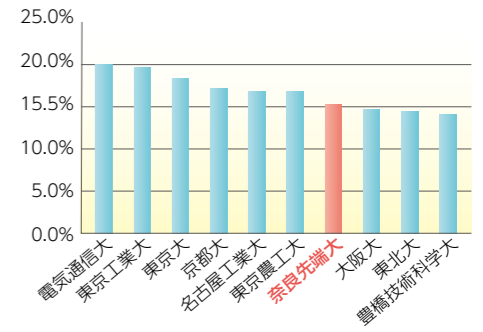
流動比率は支払能力を示す指標です。通常100%が適正とされますが、流動負債には毎年予算措置される長期借入金の当該年度支払額が含まれているため、期末時点では低い値となっています。

安定した財務基盤

ランキングでみる奈良先端大

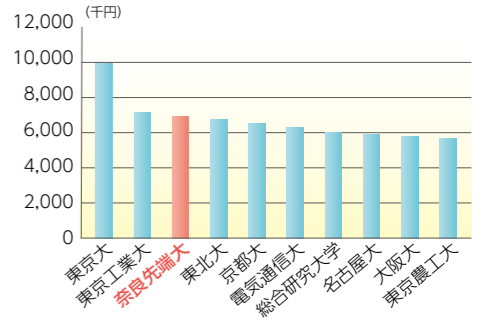
外部資金比率トップ10（2012年度）^{*1}

本学外部資金比率は全国86国立大学法人中7位という水準にあります。国内有力大学と匹敵する研究力を表しています。



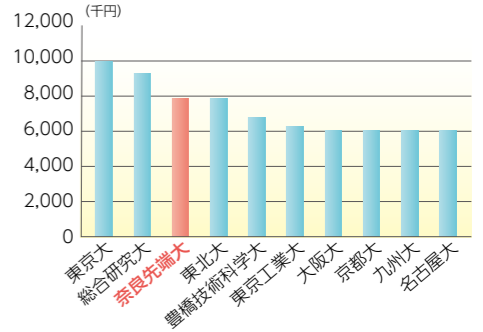
教員一人当たり外部資金収益額トップ10（2012年度）^{*2}

本学の教員一人当たり外部資金収益は、全国86国立大学法人中で3位の水準にあります。国内有力大学と匹敵する研究力を表しています。



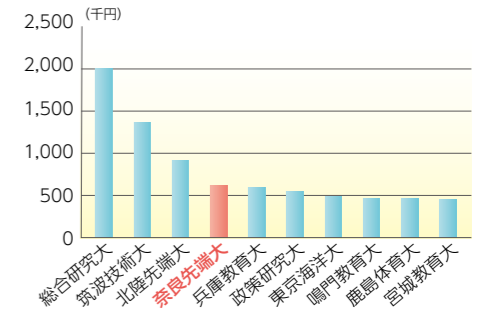
教員一人当たり研究経費トップ10（2012年度）^{*3}

教員一人当たりの研究経費は、全国86国立大学法人中3位の水準となっています。他大学と比較して、非常に高い水準の研究経費への投資を行っていることが表れています。



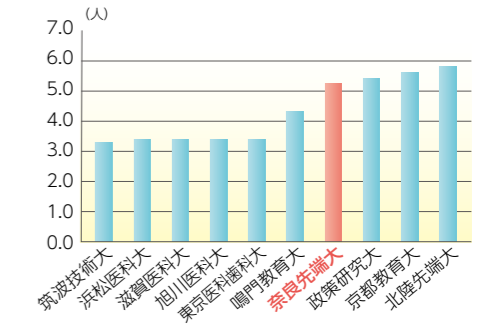
学生一人当たり教育経費トップ10（2012年度）^{*4}

学生一人当たりの教育経費は、全国86国立大学法人中4位の水準にあります。教育、医師、技術系の大学と匹敵する教育投資を行っていることが表れています。



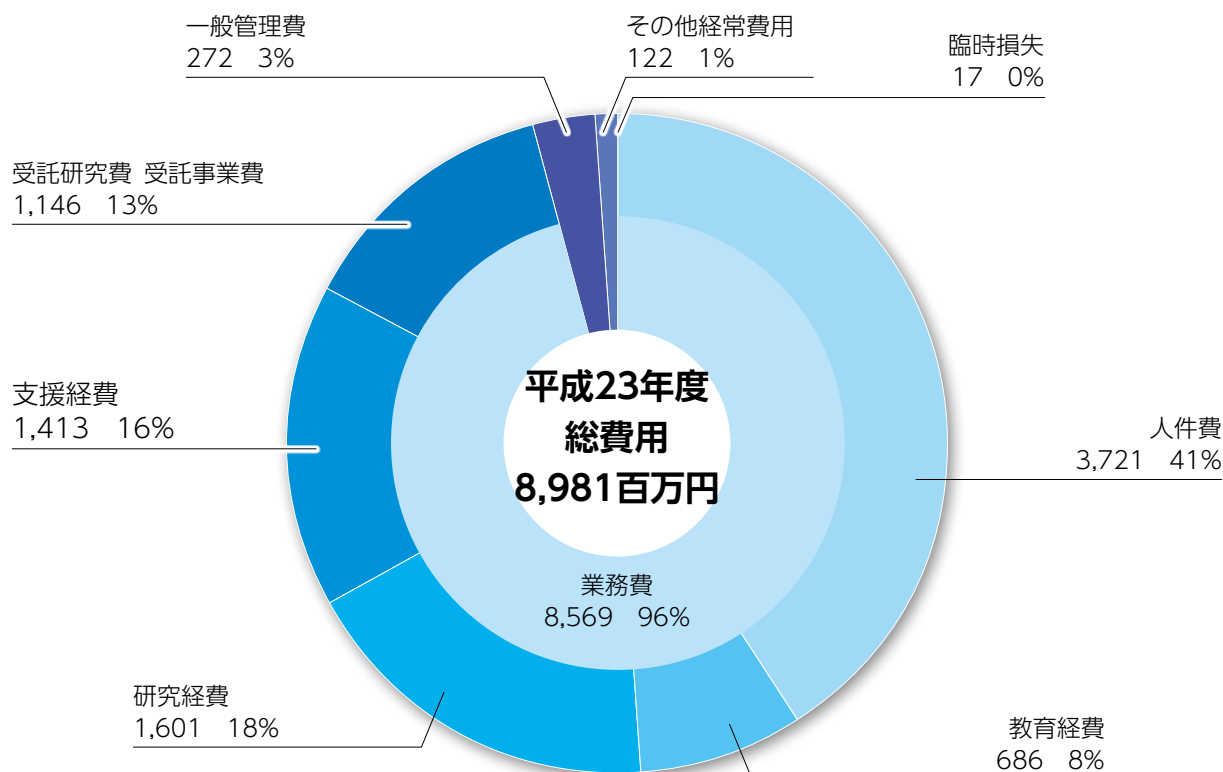
教員一人当たり学生数トップ10（2012年度）^{*5}

本学の教員一人当たり学生数は、全国86国立大学法人中7位の水準にあります。他大学と比較して、よりきめ細かな教育研究指導環境が整っていることが表れています。



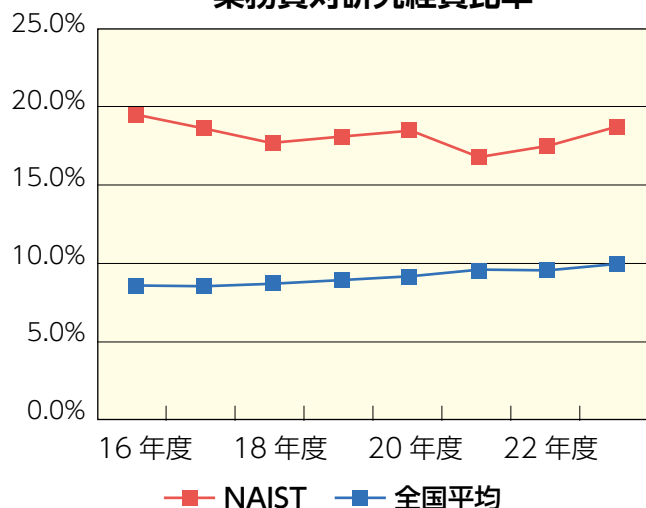
（受託研究収入＋受託事業収入＋寄附金）÷経常収益、※2：教員一人当たり外部資金収益＝外部資金収益額÷教員数、※3：教員一人当たり研究経費＝研究経費÷教員数、※4：学生一人当たり教育経費＝教育経費÷学生数、※5：教員一人当たり学生数＝学生数÷教員数、※6：研究関連資産2,042百万円÷教員数206人、※7：教育研究支援関連資産2,780百万円÷（教員数206人＋学生数1,066人）、※8：教育関連資産283百万円÷学生数1,066人

平成23年度 損益計算書 (費用) の状況

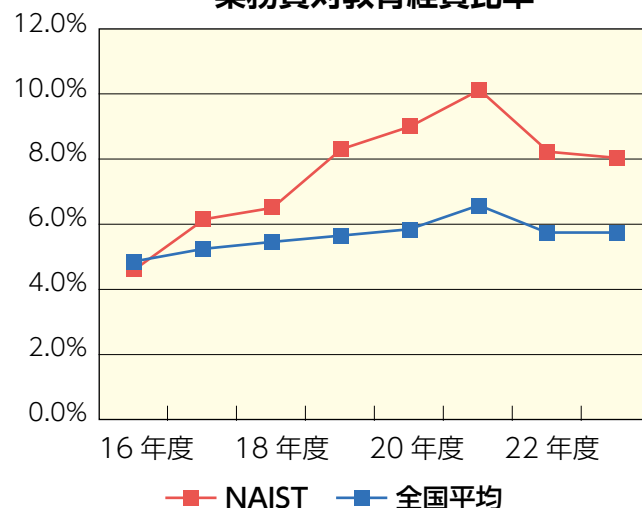


単位：百万円

業務費対研究経費比率



業務費対教育経費比率

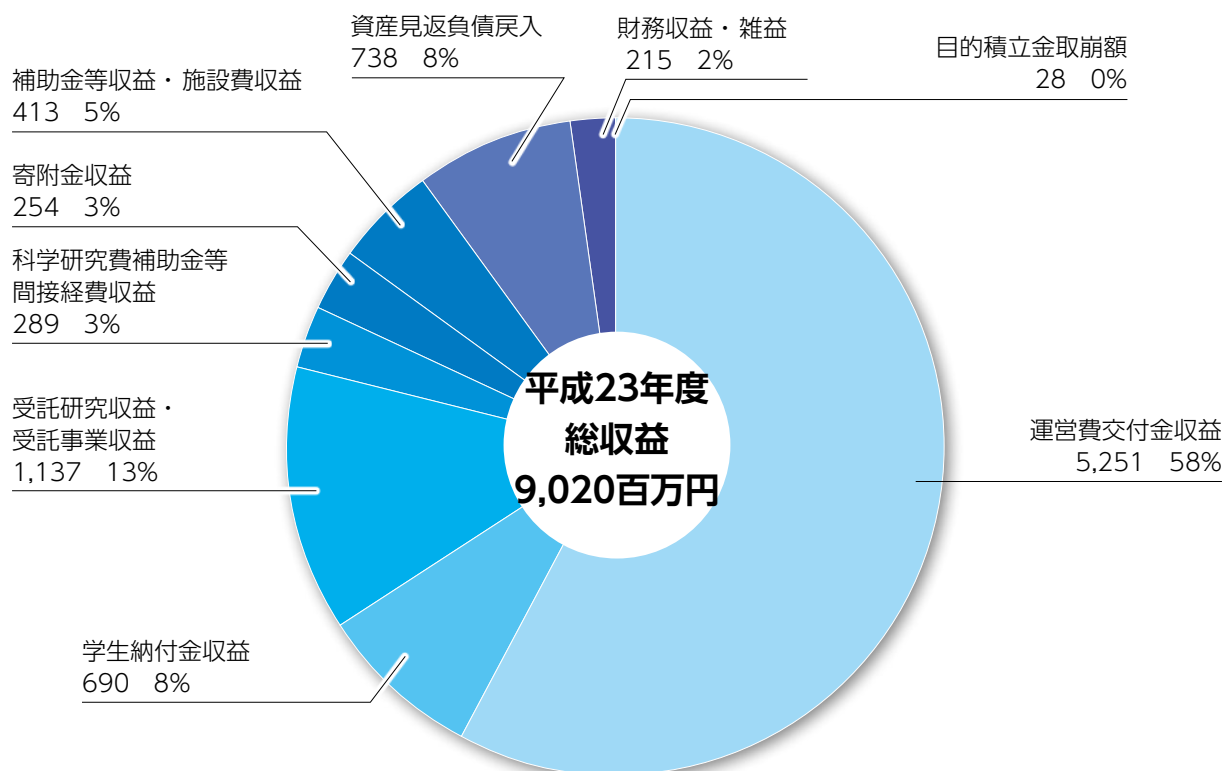


損益計算書 (費用)

損益計算書の費用は、大きく分けて、業務費、一般管理費、財務費用等に分けられ、これらの合計は経常費用となります。業務費は、教育経費、研究経費、人件費等が含まれ、大学の経営に必要な費用となっています。また、一般管理費は、大学を維持管理していくために必要な経費です。その他経常費用は、借入金、リース料の利息となっています。

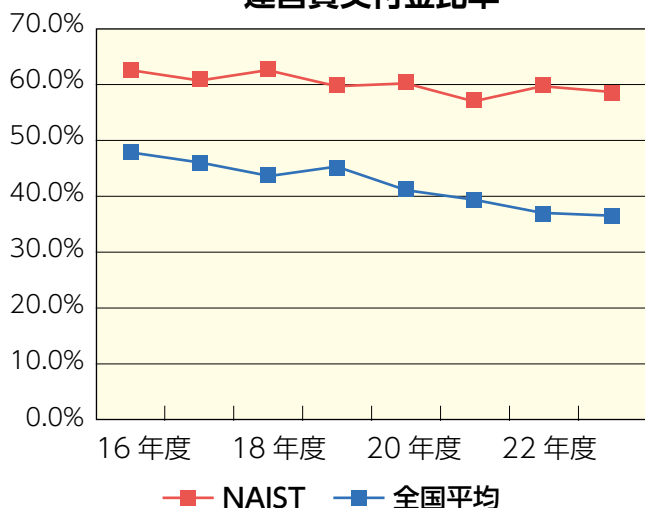
本学の損益計算書(費用)の特徴は、業務費対研究経費比率及び業務費対教育経費比率にあります。業務費に対する研究経費の割合は、全国86大学法人の平均の倍以上の割合を示しており、大学院大学としての本学の姿が強く表れています。さらに、業務に対する教育経費の割合は、全国平均よりも高い割合を示しており、教育にも投資をしている本学の姿勢が表れています。これらから、本学の教育研究に対する環境の充実度が見て取ることができます。

平成23年度 損益計算書 (収益) の状況

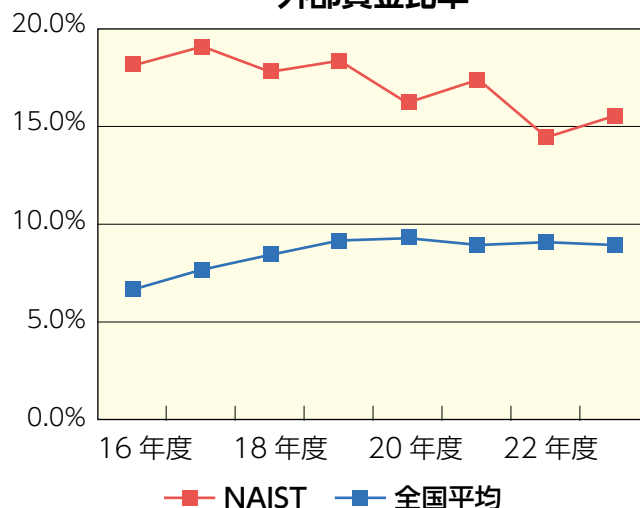


単位：百万円

運営費交付金比率



外部資金比率

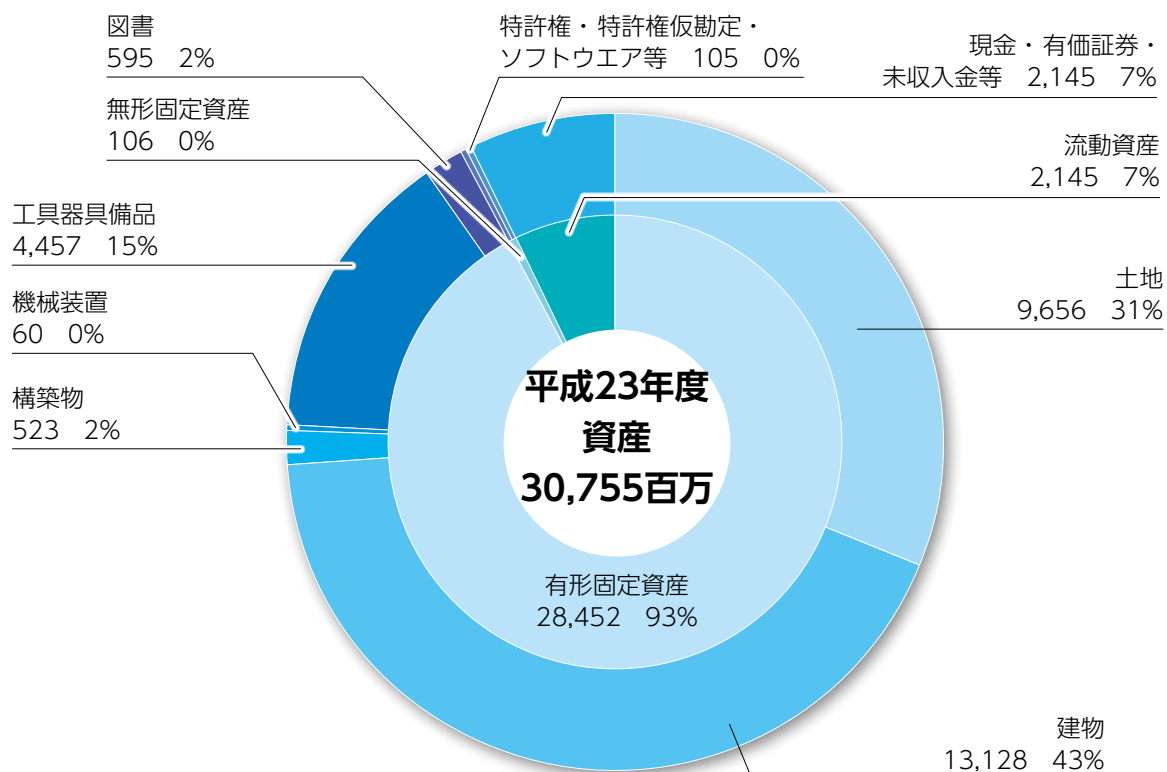


損益計算書 (収益)

損益計算書の収益は、法人が獲得した財源ごとに計上されています。それぞれに収益化の基準があり、そのルールに従い、収益が計上されています。運営費交付金や授業料については、期間進行基準が適用される（一部異なるものがある）ため、法人が努力する（費用を抑える）ことにより、利益が発生することとなります。

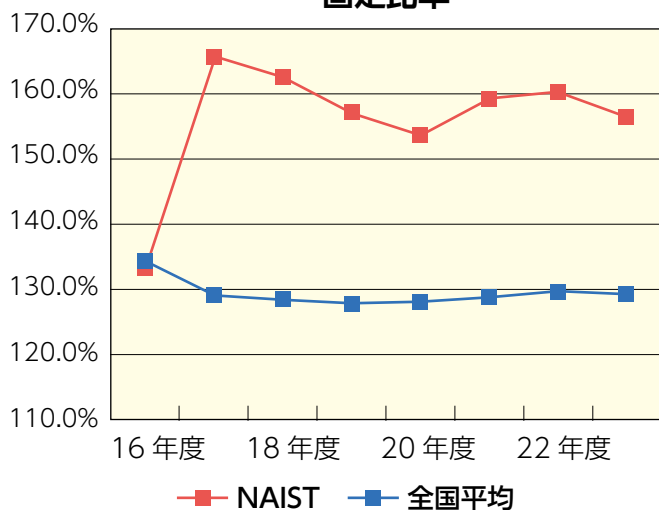
本学の損益計算書（収益）の特徴としては、運営費交付金比率及び外部資金比率にあります。運営費交付金比率は、一貫して全国平均を上まわっております。これは、本学が理工系の大学院のみの大学であるために、学部学生が在籍しないことから、国立大学法人の自己収入の大半を占める学生納付金収益が少なく、また病院収益がないことから、総収益に占める運営費交付金収益の割合が高くなってしまっている状況にあります。しかし、外部資金比率が一貫して全国平均より高いことから、外部資金の獲得力が高い、つまり、優れた研究が行われていることを表しています。

平成23年度 貸借対照表 (資産) の状況

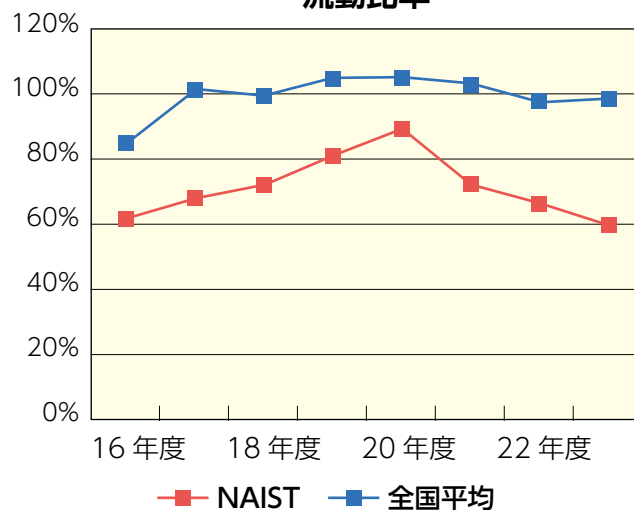


単位：百万円

固定比率



流動比率

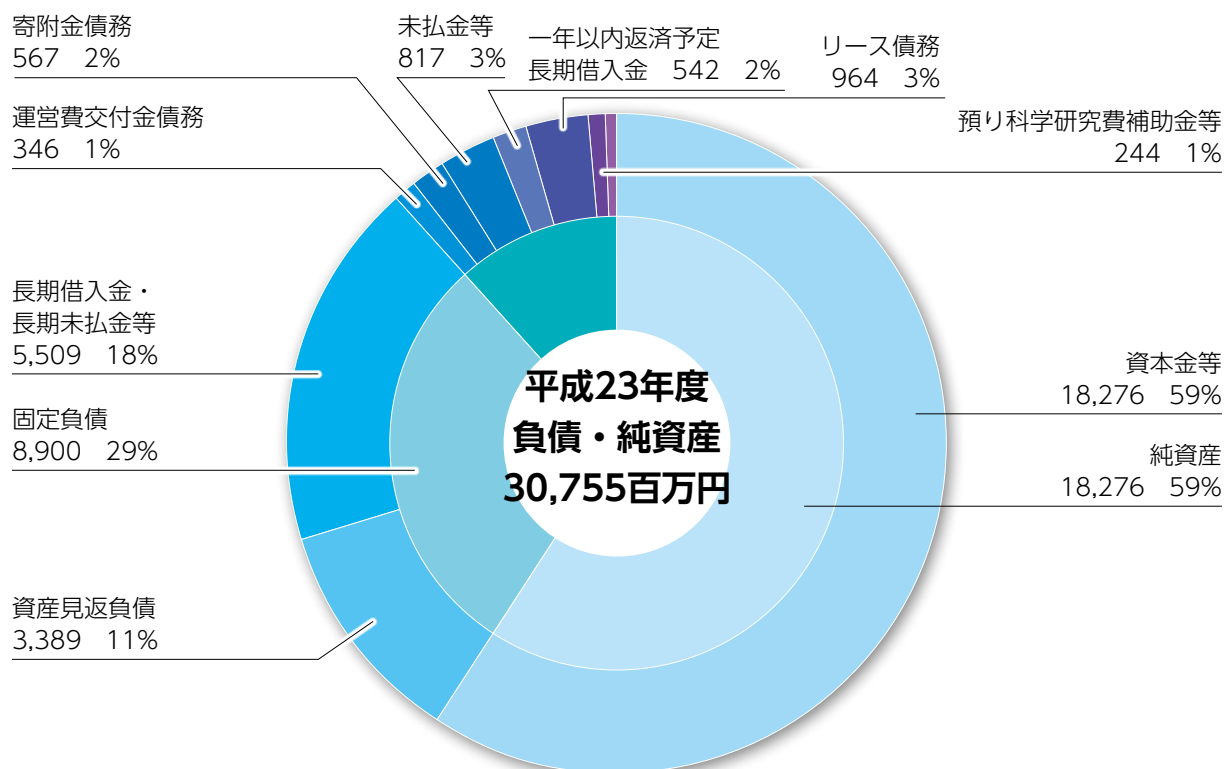


貸借対照表 (資産)

貸借対照表の資産の部は、法人が所有する固定資産と流動資産の期末残高を表しています。資産の約9割は土地、建物及び教育研究用機器が占めています。これから大学にとって、固定資産が重要であることを貸借対照表で表現していることが見て取れます。

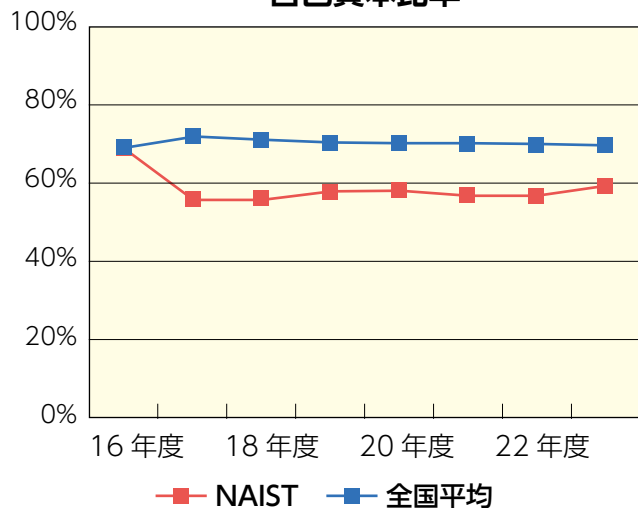
本学の貸借対照表 (資産) の特徴は、固定比率と流動比率にあります。固定比率については、全国86大学法人の平均よりも高い値となっています。これについては、法人化の翌年に教育研究用に土地を取得したことによるものですが、当該資金は国からの運営費交付金により措置されているため、財政上に影響があるものではなく、指標は徐々に改善されていきます。また、流動比率については、全国平均より低い値となっていますが、これについても前述の理由によるものです。

平成23年度 貸借対照表(負債・純資産) の状況

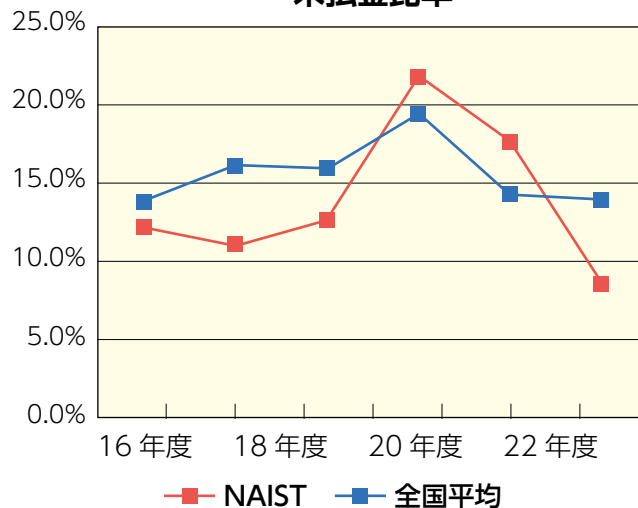


単位：百万円

自己資本比率



未払金比率



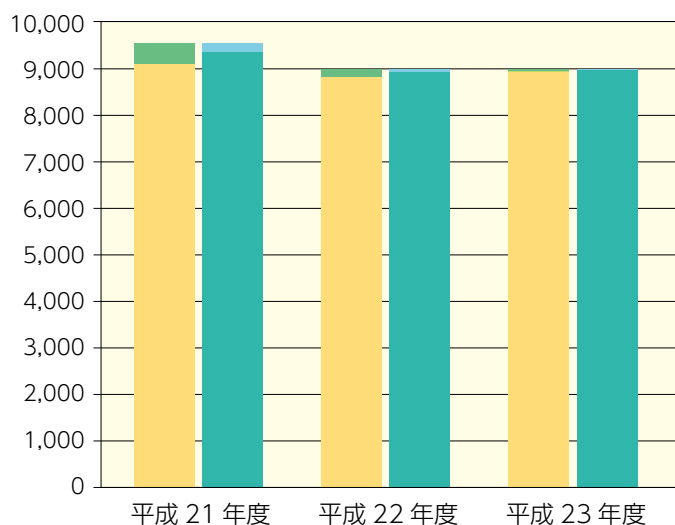
貸借対照表 (負債・純資産)

貸借対照表(負債・純資産)は資金の調達源泉を表しています。負債は他人資本、純資産は自己資本となっています。また、固定負債に含まれる資産見返負債は、固定資産の期末簿価(運営費交付金等により取得した資産)と同額が計上されています。これは国立大学法人特有の会計処理の一種となります。

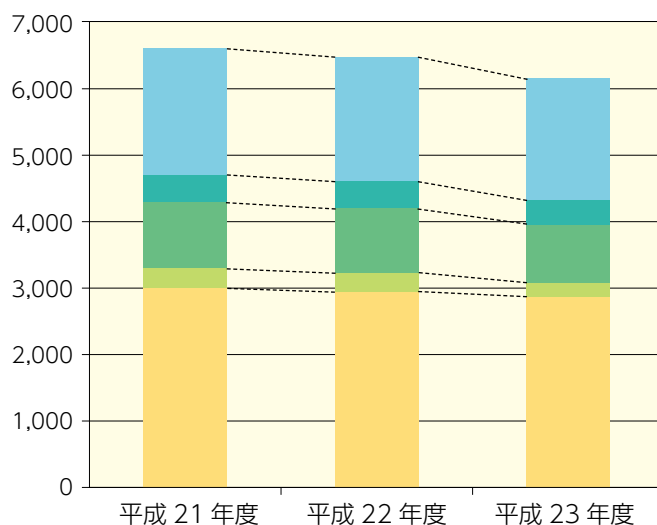
本学の貸借対照表(負債・純資産)の特徴は、自己資本比率と未払金比率にあります。自己資本比率については、全国86大学法人の平均よりも低い値となっていますが、これは法人化の翌年以降の借入金による土地購入の影響によるものです。今後、借入金の償還が進むことで改善されていきます。未払金比率については、過去2年間、全国86大学の平均よりも高い水準でしたが、今年度は全国平均を下回る水準まで低下しております。

財務諸表等の推移

損益計算書



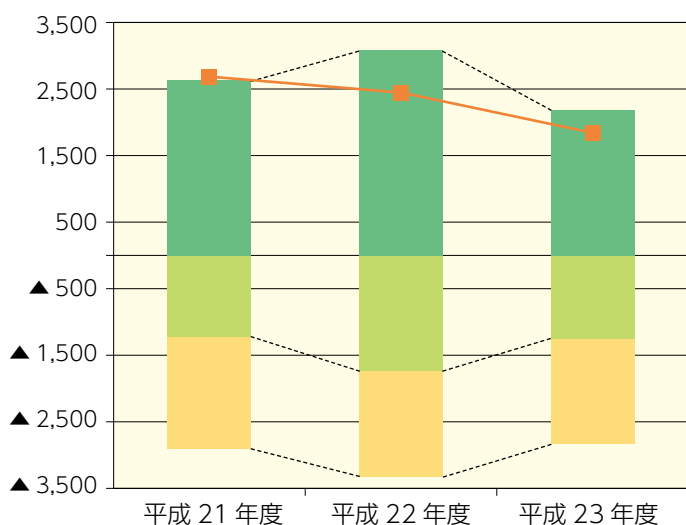
貸借対照表



● 経常費用 ● 臨時損失等 ● 当期純利益 ● 経常収益 ● 臨時利益等

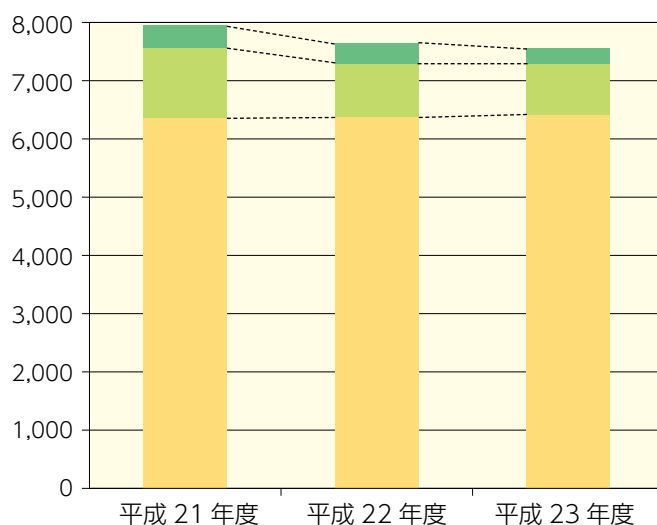
● 固定資産 ● 流動資産 ● 固定負債 ● 流動負債 ● 純資産

キャッシュ・フロー計算書



● 業務活動によるキャッシュ・フロー
● 投資活動によるキャッシュ・フロー
● 財務活動によるキャッシュ・フロー
■ 資金残高

業務実施コスト計算書



● 業務費用 ● 損益外減価償却等相当額等 ● 機会費用

◆損益計算書：平成 21 年度は多額の補助金等の獲得により、費用収益ともに大きかったものの、その後は毎年度運営費交付金が削減される中で、外部資金等の獲得努力により前年度とほぼ変わらない実績を上げ、順調に推移しています。

◆貸借対照表：借入金の償還により、負債が減少しており、順調に推移しています。

◆キャッシュ・フロー計算書：期末の支払額及び精算による入金額等でキャッシュ・フロー自体には年度ごとにブレが生じますが、予算の範囲内での執行を行っているため、キャッシュ・フローについては問題ありません。

◆業務実施コスト計算書：効率的な運営により、総額は毎年減少しています。

財務データ

■ 貸借対照表

資産の部			
科 目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
(単位：千円)			
固定資産			
土地	9,656,381	9,656,381	9,656,381
建物及び附属設備	19,610,003	20,074,015	20,239,982
減価償却累計額	△ 5,635,730	△ 6,403,272	△ 7,111,903
構築物	916,485	924,939	932,955
減価償却累計額	△ 314,849	△ 361,831	△ 409,480
機械及び装置	242,328	242,328	242,328
減価償却累計額	△ 136,658	△ 159,114	△ 181,571
工具、器具及び備品	11,442,663	12,132,347	12,531,095
減価償却累計額	△ 6,735,452	△ 7,300,404	△ 8,073,309
図書	588,313	595,403	595,800
美術品・収蔵品	20,413	20,413	20,413
車両運搬具	10,440	20,701	20,701
減価償却累計額	△ 9,310	△ 10,150	△ 13,092
建設仮勘定	146,370	6,510	2,656
その他有形固定資産	4,652	-	-
特許権	23,218	21,065	17,202
ソフトウェア	39,309	371,121	26,096
電話加入権	294	282	210
その他無形固定資産	69,872	67,799	62,907
投資有価証券	49,921	49,947	49,960
その他の投資等	336	1,575	604
固定資産合計	29,989,002	29,616,058	28,609,936
流動資産			
現金及び預金	2,701,679	2,452,977	1,830,508
未収学生納付金収入	23,829	25,104	20,465
徴収不能引当金	-	-	△ 151
未収入金	126,087	95,906	67,536
未収消費税	20,371	-	-
有価証券	79,892	-	199,974
たな卸資産	2,725	11,364	6,169
前渡金	283	305	-
前払費用	4,431	5,641	5,167
立替金	57,189	136,529	10,640
その他流動資産	3,984	6,593	5,631
流動資産合計	3,020,475	2,734,422	2,145,943
資産合計	33,009,477	32,350,480	30,755,879

負債の部			
科 目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
(単位：千円)			
固定負債			
資産見返負債	3,071,633	3,438,061	3,389,994
長期借入金	5,428,214	4,885,392	4,342,571
長期未払金	1,508,872	1,402,695	1,165,492
その他固定負債	2,564	5,495	2,427
流動負債			
運営費交付金債務	-	92,980	346,159
預り補助金	-	-	40,000
寄附金債務	576,548	549,234	567,432
前受委託研究費等	29,191	68,590	20,358
前受委託事業費等	-	850	3,226
前受金	23,278	21,993	17,717
預り科学研究費補助金等	53,351	308,110	244,013
預り金	2,396	5,500	10,977
一年以内返済予定長期借入金	542,821	542,821	542,821
未払金	2,839,044	2,452,910	1,694,172
未払費用	98,514	89,821	80,603
未払消費税等	-	11,192	7,745
賞与引当金	1,795	491	-
その他流動負債	475	4,699	3,756
負債合計	14,178,703	13,880,841	12,479,469

純資産の部			
科 目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
(単位：千円)			
資本金			
政府出資金	18,814,433	18,814,433	18,814,433
資本剰余金			
資本剰余金	6,510,960	7,218,016	7,851,469
損益外減価償却累計額 (-)	△ 7,163,335	△ 7,998,486	△ 8,735,702
損益外減損損失累計額 (-)	△ 90	△ 90	△ 90
利益剰余金			
研究教育の質向上・組織運営改善積立金	1,260	-	-
積立金	272,396	-	-
前中期目標期間繰越積立金	-	307,025	307,025
当期未処分利益	395,149	128,741	39,275
純資産合計	18,830,774	18,469,639	18,276,410
負債純資産合計	33,009,477	32,350,480	30,755,879

■ 損益計算書

損益計算書			
科 目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
(単位：千円)			
経常費用			
業務費			
教育経費	877,250	688,452	686,564
研究経費	1,458,574	1,475,717	1,601,932
教育研究支援経費	1,386,195	1,432,124	1,413,357
受託研究費	1,253,101	1,013,081	1,110,891
受託事業費	79,243	38,031	35,672
人件費	3,650,221	3,804,978	3,721,218
一般管理費	299,969	258,974	272,102
財務費用	144,277	139,512	122,240
雑損	-	-	34
経常費用合計	9,148,834	8,850,873	8,964,115
経常収益			
運営費交付金収益	5,334,588	5,338,170	5,251,379
授業料収益	540,014	532,979	538,654
入学金収益	112,884	118,129	119,624
検定料収益	33,346	37,296	32,632
受託研究等収益			
国から	257,459	180,004	126,575
その他から	1,006,058	832,934	975,683
受託事業等収益			
国から	55,480	-	-
その他から	23,763	38,031	35,672
寄附金収益	274,950	241,683	254,601
施設費収益	8,833	-	1,610
補助金等収益	758,176	543,817	412,295
科学研究費補助金等間接経費収益	151,857	218,919	289,277
財務収益	6,889	2,229	1,621
雑益	231,764	223,152	214,318
資産見返負債戻入	581,436	649,689	738,687
経常収益合計	9,377,504	8,957,039	8,992,635
経常利益	228,670	106,165	28,520
臨時損失	4,555	8,135	17,263
臨時利益	120,470	62	-
当期純利益	344,585	98,093	11,257
目的積立金取崩額	50,563	-	28,018
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	30,647	-
当期総利益	395,149	128,741	39,275

■ キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書			
科 目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
(単位：千円)			
I 業務活動によるキャッシュ・フロー			
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 2,873,849	△ 2,508,763	△ 2,648,495
人件費支出	△ 4,134,432	△ 3,960,892	△ 4,160,736
その他の業務支出	△ 254,810	△ 235,220	△ 250,074
運営費交付金収入	6,306,391	6,330,745	6,301,997
授業料収入	498,364	491,142	4,813,234
入学金収入	110,346	111,079	119,906
検定料収入	33,346	37,296	32,632
受託研究等収入	1,250,398	1,102,899	1,061,342
受託事業等収入	79,243	38,826	38,104
補助金等収入	1,110,329	980,083	666,152
補助金等の精算による返還金の支出	△ 1,526	△ 23,400	△ 56,534
寄附金収入	232,454	166,653	186,876
その他の業務収入	358,910	475,953	442,501
預り金の増減	△ 1,694	641	10,579
預り科学研究費補助金の増減	△ 58,858	214,015	△ 23,354
国庫納付金の支払額	-	△ 120,155	-
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,654,612	3,100,905	2,202,131
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得	-	-	△ 600,007
有価証券の償還	80,000	80,000	400,000
有形固定資産等の取得	△ 1,644,653	△ 1,868,726	△ 1,071,392
有形固定資産等の売却	315	719	262
施設費による収入	318,542	26,000	26,000
定期預金の預入による支出	△ 1,000,000	-	△ 3,050,000
定期預金の払戻による収入	1,000,000	-	3,050,000
小計	△ 1,245,796	△ 1,762,007	△ 1,245,137
利息の受取額	6,136	2,206	1,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,239,660	△ 1,759,800	△ 1,243,735
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済	△ 542,821	△ 542,821	△ 542,821
長期借入による収入	-	-	-
リース債務の返済	△ 977,226	△ 898,256	△ 905,924
小計	△ 1,520,048	△ 1,441,077	△ 1,448,746
利息の支払額	△ 152,167	△ 148,729	△ 132,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,672,215	△ 1,589,806	△ 1,580,865
IV 資金に係る換算差額			
V 資金増減額	△ 257,263	△ 248,701	△ 622,469
VI 資金期首残高	2,958,942	2,701,679	2,452,977
VII 資金期末残高	2,701,679	2,452,977	1,830,508

* 本学の財務諸表の詳細については http://www.naist.jp/corporate/index_j.html の財務に関する情報をご参照ください。



本件に関するお問い合わせ先

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 経営企画部会計課決算係

〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916-5(けいはんな学研都市) TEL0743-72-5035 本学ホームページ: <http://www.naist.jp/>